

まちづくり複合施設等整備特別委員会

# 施設整備は基本設計から実施設計へ

4月26日、6月7日、白鷹町まちづくり複合施設整備事業の取り組み状況について説明を受けた。

## 実施設計策定にあたり

- ・委託先設計会社と、庁内プロジェクトチーム、担当課が連携し、関係団体（使用団体等）から意見を伺いながら取り組む。
- ・進捗状況は町報などで町民に知らせる。

## 実施設計契約先

株式会社  
環境デザイン研究所

## 今後のスケジュール

- 7月～8月 まちづくり座談会にて説明
- 9月 委員会へ進捗状況報告
- 12月 委員会へ進捗状況報告
- 3月 委員会へ最終報告  
実施設計完了

## 質疑

**執務室のスペースは十分か**

**委員** 庁舎（執務室）部分が4割、6割は町民ラウンジ、会議室、防災センター等ということだが、執務室のスペースは十分なのか。

**当局** 現時点の役場職員数をもとに、総務省の示す一人あたりの執務スペースの基準より若干広めにとっている。事務局では十分足りると判断している。

**熊本地震を受けて、今後の進め方は**

**委員** 熊本地震が発生した。県内にも活断層があり、いつ災害が起こるか分からない中、複合施設の整備が重要になってくる。今後の進め方についての考えは。



**当局** 熊本のような地震が起きれば、行政機能全てが弱体化していく。司令塔となりうる庁舎は必要である。費用については、将来にわたって町民負担をできる限り少なくするよう、財源を調達していく。

町民に説明し、理解を得ながら、着実に一歩一歩進めていきたい。

## 議会広報研修

### わかりやすい編集・表現のポイントは

5月25日、県の町村議会広報研修会が行われた。住民に分かりやすく情報を伝えるために、特に紙面構成において、企画、配置、見出しなどを考えながら編集することの大切さを感じた研修であった。



## 紙土を感じる

**表 東根小・田植え体験**

東根小学校の5年生15人による田植え体験が、5月27日に小山沢地区の水田で行われました。当地域地域づくり推進協議会の協力による『米づくり体験学習』のひとつで、秋には稲刈り体験なども行われます。

苗を丁寧に扱いつつ、1時間ほどで約2アールの手植え作業を終え、児童からは「線の通りに植えるのが難しかった、家の田んぼで練習したい」などの感想がありました。

